降誕前第６主日　　**No. 46**

主日礼拝

2026 年 11 月 15 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集　（報告 ・ 紹介 ・ 予定）

招詞

「力を捨てよ、知れ
わたしは神。
国々にあがめられ、この地であがめられる。」
(詩編 46:11)

頌栄　24「たたえよ、主の民」



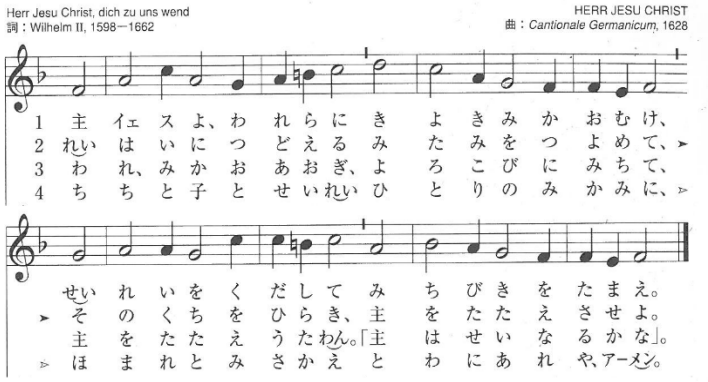
十戒交読

司式者　わたしはあなたの神、主であって、あなたを
エジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。
会　衆　サント　サント　サント（讃美 85）
司式者　あなたはわたしのほかに、なにものをも
神としてはならない。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　あなたは自分のために、刻んだ像を造っては
ならない。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに
唱えてはならない。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　安息日を覚えて、これを聖とせよ。
会　衆　サント　サント　サント（讃美 85）
司式者　あなたの父と母とを敬え。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　あなたは殺してはならない。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　あなたは姦淫してはならない。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　あなたは盗んではならない。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　あなたは隣人について、偽証してはならない。
会　衆　主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者　あなたは隣人の家を貪ってはならない。
会　衆　サント　サント　サント（讃美 85）

85　「サントサントサント」



賛美　1「主イェスよ、われらに」



1 主イェスよ、われらに　きよきみ顔向け、
聖霊をくだして　導きをたまえ。

2 礼拝につどえる　み民をつよめて、
その口を開き、主をたたえさせよ。

3 われ、み顔あおぎ、喜びに満ちて、
主をたたえ歌わん。「主は聖なるかな」。

4 父と子と聖霊　ひとりのみ神に、
ほまれとみ栄え　とわにあれや、アーメン。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美　32「キリエ・エレイソン」



聖書　出エジプト記 3:1～15　旧約(新共同訳)P96～P97

1 モーセは、しゅうとでありミディアンの祭司であるエトロの羊の群れを飼っていたが、あるとき、その群れを荒れ野の奥へ追って行き、神の山ホレブに来た。2 そのとき、柴の間に燃え上がっている炎の中に主の御使いが現れた。彼が見ると、見よ、柴は火に燃えているのに、柴は燃え尽きない。3 モーセは言った。「道をそれて、この不思議な光景を見届けよう。どうしてあの柴は燃え尽きないのだろう。」

4 主は、モーセが道をそれて見に来るのを御覧になった。神は柴の間から声をかけられ、「モーセよ、モーセよ」と言われた。彼が、「はい」と答えると、5 神が言われた。「ここに近づいてはならない。足から履物を脱ぎなさい。あなたの立っている場所は聖なる土地だから。」6 神は続けて言われた。「わたしはあなたの父の神である。アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」モーセは、神を見ることを恐れて顔を覆った。

7 主は言われた。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみをつぶさに見、追い使う者のゆえに叫ぶ彼らの叫び声を聞き、その痛みを知った。8 それゆえ、わたしは降って行き、エジプト人の手から彼らを救い出し、この国から、広々としたすばらしい土地、乳と蜜の流れる土地、カナン人、ヘト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の住む所へ彼らを導き上る。9 見よ、イスラエルの人々の叫び声が、今、わたしのもとに届いた。また、エジプト人が彼らを圧迫する有様を見た。10 今、行きなさい。わたしはあなたをファラオのもとに遣わす。わが民イスラエルの人々をエジプトから連れ出すのだ。」

11 モーセは神に言った。「わたしは何者でしょう。どうして、ファラオのもとに行き、しかもイスラエルの人々をエジプトから導き出さねばならないのですか。」12 神は言われた。「わたしは必ずあなたと共にいる。このことこそ、わたしがあなたを遣わすしるしである。あなたが民をエジプトから導き出したとき、あなたたちはこの山で神に仕える。」

13 モーセは神に尋ねた。

「わたしは、今、イスラエルの人々のところへ参ります。彼らに、『あなたたちの先祖の神が、わたしをここに遣わされたのです』と言えば、彼らは、『その名は一体何か』と問うにちがいありません。彼らに何と答えるべきでしょうか。」

14 神はモーセに、「わたしはある。わたしはあるという者だ」と言われ、また、「イスラエルの人々にこう言うがよい。『わたしはある』という方がわたしをあなたたちに遣わされたのだと。」15 神は、更に続けてモーセに命じられた。

「イスラエルの人々にこう言うがよい。あなたたちの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である主がわたしをあなたたちのもとに遣わされた。

これこそ、とこしえにわたしの名

これこそ、世々にわたしの呼び名。

賛美　157「いざ語れ、主の民よ」



1 いざ語れ、主の民よ、
「味方なる　神ともに
いまさずば　敵せまり
その炎　燃えさかり
わが魂　のみつくさん」。

2 「味方なる　神ともに
いまさずば　わざわいは
あふれくる　大水の
恐るべき　波となり
わがいのち　押し流さん」。

3 ほめ歌え　主のみ名を。
からみつく　網を裂き
逃れ去る　鳥のごと
わが魂　逃れたり。
主のみ名に　助けあり。

説教　「神さまが備える救いの道」

賛美　160「深き悩みより」



1 深き悩みより　われはみ名を呼ぶ。
主よ、この叫びを　聞き取りたまえや。
されど、わが罪は　きよきみこころに
いかで耐え得べき。

2 世にある人々　力の限りに
主の道を求め　いそしみ励めど
神のみ恵みに　ふさわしき者は
ただ一人もなし。

3 おのれの業には　少しも頼らず、
おのれの力に　救いを求めず、
疑うことなく　神のみ言葉に
望みをおくのみ。

4 朝を待ち望む　見張りにもまして
われはひたすらに　神を待ち望む。
疑いの闇は　いかに深くとも
み力　現れん。

5 われらの罪をも　すべてつつみたもう
主のいつくしみは　豊かにあふれて、
み民のそむきを　あがなう牧者の
恵みはつきせじ。

派遣

司式者　主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会 衆　**わたしがここにおります。**
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏

司 式　袁　紅
説 教　向井　希夫牧師
奏 楽　髙橋　孝子